

KAGOSHIMA Design Project 2009

第1回かごしまデザインプロジェクト無事閉幕！

第1回かごしまデザインプロジェクト2009

2009年3月28日、鹿児島市住吉町の大津倉庫でかごしまデザインプロジェクト2009が開催されました。このイベントは、「鹿児島で学ぶ学生たちの作品を通じて、意見を交換する場を提供し、これを議論し、鹿児島のデザイン活動の活発化を目指す」として、鹿児島大学の学生が主体的に始めたイベントです。当日はあいにくの雨でしたが、100人を超える多くの方々に参加していただきました。

テーマは「beginning」

このイベントは第1回という事もあり、今後続けて行くぞ!という意気込みを込めて、「beginning」というテーマを設定しました。今回は建築の作品を集め、4名の審査員をお迎えし、ポスターセッション形式と一般投票による一次審査と、プレゼンテーションによる二次審査により、意見交換を行いました。また、議論に方向性を持たせる事と、今後の学生のやる気に繋がるように、最優秀賞と審査員特別賞を設け、表彰を行いました。

イベント企画のきっかけ

そもその話は、大学院1年の設計課題で、中心市街地活性化というテーマを取り上げ、鹿児島三越閉店後の建物活用と、いわさきザピエルホテル450跡地の活用を議論し、いくつかの活用案を作成した事から始まりました。通常、授業で作成した案は学内で講評を受けるのですが、学生の多くが「せっかくだから、天文館の人に提案して意見をもらいたい!」と立ち上がり、WeLove天文館協議会の有馬会長へ提案する機会を得ることができました。代表の学生3人で提案を行い、1時間程度、有馬会長と話をすることで、学内では得られない貴重なご意見を聴くことができました。

この経験を学内に広められないのか?ただ伝えるだけでいいのか?

2月26日、WeLove天文館協議会主催の中心市街地活性化フォーラムに参加後、7時間居酒屋に居座り、学生同士で「自分たちは何かできないのか、何をすべきなのか」を議論し、考えました。そこで生まれたのが、この「かごしまデザインプロジェクト」です。普段学生は社会とつながる機会がありません。自分たちの考えている事に対し、直接意見を交わす機会也没有。多くの人が参加して意見交換できるイベントをつくりたい!という思いで、数名の学生が主体となり、開催に向けて動き出しました。



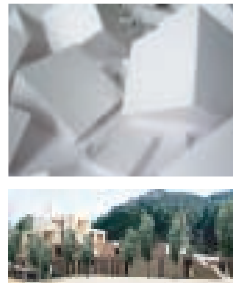
準備の様子



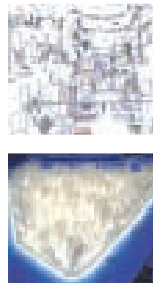
第1回の会場となった住吉町の大津倉庫



最優秀賞受賞作品



テンモンカンガッコウIWASAKI



その他の作品

準備作業とプロモーションの展開

イベントをやろう!と言ったのが2月26日で、開催は3月28日・・・時間がありません。準備は急ピッチで進みます。「他の学校や学科も巻き込みたい」「いろんなジャンルの作品を展示したい」やりたい事はたくさんありますが、とても全部盛り込めません。今回は建築学科のみだけど、今後はもっと幅広い活動にしたいという意味を込めてタイトルは「かごしまデザインプロジェクト」それが内容をわかりにくくしてしまう事にもなりました・・・着々と準備を進める中、学生の持てる力(コネ)を最大限活用し、新聞、ラジオ、雑誌にてプロモーションを行いました。特に南日本新聞には何度も掲載され、知名度を上げる事ができました。LEAP5月号にはこのイベントが特集されます。他にも、ホームページやブログを立ち上げたり、鹿児島県建築士会のサロンに参加したり、多くのポスターやフライヤーを配布したりして、積極的に活動を発信していきました。



打合せ風景



真剣に打合せ中・・・



建築士会の皆様

また当日会場には、長谷工住まいのデザインコンペティション最優秀賞受賞作品等のコンペ受賞作品や、他大学の学生作品などを、特別作品として展示しました。



一次審査、来場者と制作者とのポスターセッション

午後1時の開場後、審査員のご紹介とイベントの概要説明をざらりと終わらせ、さっそく一次審査として、ポスターセッションを行いました。ポスターセッションとは、作品の前で制作者と来場者が一対一で意見交換を行う方法です。制作者により近い位置でやりとりできるので、気軽に話をすることができます。全17作品を展示した会場は多くの人で溢れざわざわする中、制作者それぞれが配布資料を用意するなど工夫を凝らして作品の説明を行い、活発な議論が展開しました。ポスターセッションでは一般来場者も含め、気に入った作品に投票

してもらい、二次審査の対象作品を決定します。1時間半という短い時間で、全ての制作者と意見交換できなかった人もいたようですが、一般来場者49名の方と審査員に投票していただきました。どの作品にも票が入り審査は難航しましたが、二次審査に向けて5作品を選定しました。アンケート結果でもポスターセッションの評価は高く、「直接話を聞けるのがよかった」「有意義な時間を過ごせました」というコメントをいただいています。学生にとっても自分の作品を通じて、審査員や一般来場者とこのような議論を交わせたのは、とても有意義な事でした。



ポスターセッションの様子



審査員や一般来場者と、作品について議論を交わす様子



二次審査、プレゼンテーショントーナメント

二次審査では、一次審査の投票で選ばれた5作品の制作者が来場者全員の前で作品の内容を説明し、全体で議論するプレゼンテーショントーナメントを行いました。ここでは審査員だけでなく一般来場者にも意見を求め、各3分程度の説明に対し、白熱した意見交換が1時間以上繰り上げられました。来場者からは「鹿児島らしさをどう考えているか」などの質問だけでなく、「私はこの作品が好きだ」などの率直な意見も出ながら楽しく展開しました。ここでの意見はだいぶ建築に特化したものとなり、一般の方は少し参加しにくかったかもしれません。有意義な議論を経て、審査員の意見を含め各賞を選定し、最優秀賞には大学院1年の長谷部（他2名）作「テンモンカンガッコウIWASAKI」が選ばれました。このイベントでは受賞の有無に関わらず、この場に参加した事が、学生や参加者にとって意味があったと確信しています。



次回に向けて

イベント終了後、様々な方からアンケートやコメントをいただきました。会場の広さ場所、時間などまだまだ問題点、改善点はたくさんあります。今後このかごしまデザインプロジェクトをどう展開していくかは模索中ですが、継続的なイベントとして、地域に根ざし、より楽しく有意義なものにしていきたいと考えています。学校や学科の枠を超えて、色々つながりを生める、未来を創造できるイベントでありますように。第2回をお楽しみに！



今回のイベントは、学生だけでなく、多くの方々に協力いただきました。色々サポートしていただいた鹿児島県建築士会の方々、71名のご協賛いただいた方々、ご来場いただいた方々、本当にありがとうございました。

KDP commission かごしまデザインプロジェクトの事務局として、学生の有志で結成した団体です。

MAIL : kdpcommission@gmail.com

WEB BLOG : <http://kdesignpro.blog.shinobi.jp/>

